

A. K. 英語英文学科・3 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

高校生のころから留学してみたいとなんとなく思っていました。英語の教員になるのが夢だったので、留学して実践的な英語力を向上させ、また授業で留学体験を話してみたいと考えていたためです。同女に入学することになって同女の協定留学という制度を知り、個人的に留学するよりも安価で、同女を通しての出願になるので手続きも比較的楽かなと思い、この制度を利用することにしました。1 回生の頃から、国際課が発行する「留學生体験記」や「留学の手引き」を読み込んで、留學生活を思い描いたり、出願方法をしっかりと確認したりするようにしていました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

イギリスの大学に興味があったので IELTS を選択することにしました。希望の大学に必要なスコアは 6.0 点でした。本格的に IELTS の勉強を始めたのは 2 回生の夏頃です。まずは IELTS の試験内容や説明、それぞれのセクションのための勉強法（基礎からレベルアップしてきます）が書かれているテキストを購入し、それを一通りやってから初めての試験（10 月）に臨みました。（TOEFL もそうなのですが、こういった試験は 1 回受けてみないと試験の雰囲気がわからないことがあるので、1 回で目標のスコアを突破しようと思うのではなく、初めの 1 回は試験がどんなものなのか見るためのものと思ってもいいと思います。）1 回目のスコアは 5.0 点（R:5.0、L:4.5、W:4.5、S:5.0）でした。2 回目で目標のスコアを突破したいと思ったので、この後はしっかりと勉強しました。Reading は、あまり苦手意識がなかったため、試験と同じ形式のものを時間を計って解くのを繰り返しました。Listening は問題を解いて採点したあとに聞き取れなかったところを script を見ながら Shadowing したり、スピードを速くして流してみたりして IELTS の英語を聞き取ることに慣れるようにしました。Writing は、初めに紹介したテキストに進め方や使える接続詞・表現が載っているのでそれを覚えながら試験と同じ字数・時間で書き、同女のネイティブの先生に添削してもらいました。Speaking は、テキストに使える表現が載っていたのでそれを覚えるくらいしかしませんでした。今となってはこれが問題だったと思います。試験が近づくと、模試を中心に解きました。2 回目の受験（12 月）では 5.5 点（R:6.0、L:5.5、W:5.5、S:4.5）でした。この点数だとアメリカの大学に出願することができるので、私はここで少し気が緩んでしまいました。1 月に最後の IELTS を受けたのですが同じスコアでした。こう言うと、目標のスコアを取ることが難しいと感じる人もいますが、しっかりと準備・計画を立てこつこつ取り組めば誰でも目標のスコアに届くと思います。わたしが失敗を通して思ったことは、1 回生のうちにしっかりと英語に親しんでおくことが大切だということ。英語のニュースを読んでみる、TED や CNN、洋画を観る、同女の授業やボランティアなどでネイティブと話す機会を持つ、レポートはアウトラインなどきちんと作ってから書く、な

どです。こうしておけば、出願前に IELTS の試験形式に慣れる練習をするだけでよくなります。私の場合は、英語をきちんと勉強し始めたのが IELTS の勉強のときだったので時間がかかり、結果的に間に合わなかったのだと思います。これから留学を目指すみなさんには、早めに準備をし、継続して最後まで取り組み、目標のスコアを獲得してほしいと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間

大学から届いた書類（膨大なのと、親が入っている保険といった情報についても書かないといけませんでした）を提出することと、ビザの申請をすることがメインでした。ビザ申請はまず、ネットで自分の情報等を入力しておくのですが、これがものすごく時間がかかりました（4時間くらいだったかな）。入力したあとにビザの料金支払いの手続きと面接予約をします。料金支払いの手続きも、データ入力や登録をしないといけないので少し時間がかかりました。面接予約は、少し先でないととれないことがあるので早めにしておきましょう。そして大使館（アメリカだと大阪です）に行って面接をしてもらいます。大使館に着いて比較的すぐに面接に進めたので 30 分くらいで終わりました。英語に関しては特に何もしていませんでしたが、Listening や Speaking の練習をしておいた方がいいと思います。テキストの CD を聞くとかではなくて、映画や TED など実際に話されている英語を聞くことに慣れておいた方がいいかもしれません。そこで会話表現を覚えることも可能だと思います。Reading のための単語を覚えるというよりは、実生活で使う英語の練習をしておくことをお勧めします。（私は特にしなかったのですが、現地に着いたときに他の留学生の英語がほぼ理解できませんでした。）※大学受験レベルの英単語は日常会話や授業でも出てくるので確認しておいた方がいいです。

④ 現地到着後

大学の最寄りの国際空港であるオヘア空港に到着し、大学側が頼んでおいてくださった運転手の方と出口で合流し、他の日本人 2 人（休学して留学していました）と車で大学に約 3 時間かけて向かいました。大学に着くとすぐ寮に入れてもらえました。次の日から 10 日間のオリエンテーションがありました。オリエンテーションでは、留学生全員で近くのダウンタウンに散策に行ったり、レクリエーションをしたり、アメリカでの銀行口座を開設したり（私は一切使いませんでした）、アメリカ人学生が大学の施設の案内をしてくれたり、書類に記入したりなどをしました。夜になるとほぼ毎日講演会や映画を見るイベントなどがあり、寮が同じ友達と一緒に参加していました。着いたばかりでまだ気持ち的に緊張や不安もありましたが、できるだけ参加しておいた方がいいと思います。このオリエンテーションで、留学生と距離を縮めることができました。

⑤ 語学研修期間

私は秋スタート留学だったので語学研修期間はなかったのですが、秋学期は留学生用の英語のための科目をとっていたのでそれを中心に書きます。

・ Reading（月・水、各約 2 時間）

月：厚めの小説を週末に 2 章ずつ読んできて、それに対して要約、自分の感想、Critical Question（登場人物の行動の意味や理由、小説に出てくる文化についてなど）を考えます。この 3 つの項目を中心に授業時間内でディスカッションをしました。

水：テキストを段落ごとに読みます。先生が段落ごとの要約をするように指示するので発表します。学生は机に輪になって座り、その輪の中に入って授業を進めていきます。先生が何か質問したあとにすぐに発言しないと置いて行かれます。

・ Speaking & Listening（月・水、約 2 時間）

月：週末に先生が指定した TED を聞いて、要約、コメント、Critical Question を考えます。月曜日の授業でディスカッションをします。たまに先生が時事的なトピックを選んだこともありました。（フランス人学生が何人かいたので、パリでテロが起こったときはそれがトピックになりました。）

水：授業時間にビデオやニュースを見ます。それについて意見を言います。この授業では、学期内に 2 回プレゼンをします。1 回目は留学生とペアで（中国人とペアでした）、2 回目は個人で自分の専攻や将来の夢に関わるトピックを選んでプレゼンをしました。

・ Writing（火・木、約 2 時間）

テキストを読みつつ、学期内で 4 つ違うタイプのエッセイ（何かを比較するもの、自分の意見を言うものなど）を書きます。授業ごとに Outline、First essay、Final essay と進めていき、授業内でディスカッションしながら留学生同士でアドバイスしあったり、手直ししあったりしました。Writing という授業でしたが、授業内で何かを書くということはほとんどありませんでした。

⑥ 正規履修期間

大学自体は敷地もそこまで広くないので、移動は比較的簡単です。私の住んでいた寮（Dolson Hall）からは道路を挟んでメインの建物がありました。レンガ作りの美しい建物です。全体的に新しいので綺麗だと思います。芝生があり、毎日リスを見ます。天気も基本的に毎日よくて晴れているので気持ちいいと思います。

・ Small Group Communication

グループ内でのリーダーやメンバーがどのような役割をしているのか、チームからどのような影響を受けるのか、理想的なリーダー、メンバーはどんな人かについて考える授業でした。授業では、小さなスピーチをする機会があったり、1 セメスターに 3 回、グループでプレゼンをしたりしました。あとは、チームワークに関するドキュメンタリーや映画を見てそれについての感想をレポート用紙 3 枚以上書いて提出するのが 2 回ありました。

・ US in Cold War

第二次世界大戦終結から冷戦終結前のアメリカの社会や文化、またそれに関わる出来事（ベトナム戦争、ウォーターゲート事件など）についての授業でした。講義スタイルで板書は一切なし。授業時間全部でディスカッションする機会が 3 回ありました。みんな次々に発

言していくので大変でしたが、手を挙げるなりして頑張っって何か発言するよう努めました。

・ **African-American Traditional Literature**

奴隷文学の授業でした。1 セメスターに 4 冊の本を扱いましたが、予習として読んでくるページ数が膨大でした。私はほとんど追いつくことができないので、ネットの要約を頼りにしたこともありました。期末レポートはそれぞれの主人公を関連させて書くというものでした。

・ **American Civil Rights Movement**

アメリカの市民権運動についての授業でした。日本で学ぶよりもさらに深く、聞いたことがない人権活動家の名前も出てきました。中間・期末試験は教科書から出るのでしっかり読んでおかないといけませんでした。期末レポートは自分でトピックを決めて 10 ページ書くというものでした。基本的に講義形式でディスカッションやプレゼン等はなし。

・ **Flute Lesson**

日本でも吹奏楽でフルートを吹いているので、フルートのレッスンを受けました。レッスン料は自分で払わないといけませんが、定期的に小さなホールで大勢のお客さんの前で発表する機会を作ってもらい、私も何度かソロで演奏しました。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

私は入っていませんでしたが、留学生のほとんどが参加していた団体があり、何度かイベントを開催していました。また、毎週木曜日の放課後に大学の近くにある小学校（移民の子どもたちがたくさんいる）に行き、一緒に遊んだり語学のサポートをしたりしました。アメリカ人の学生とゲームを企画したこともありました。

⑧ **現地での住まいについて**

寮はもともと Dolson Hall と決められていましたが、良かったと思います。部屋は二人部屋で、学期の途中で部屋が変わることも可能。私はアメリカ人のルームメイトでしたが、特にトラブルもなかったです。フロアに 1 つずつキッチンがあり、春学期はほとんど毎日自炊していました。近所に大きなスーパーマーケットがあったので、米や醤油や野菜などを買ってきてご飯を作ったり、小麦粉やチョコレートなどでクッキーを作ったりしました。私は 2 階に住んでいたのですが、1 年生が多くてたまに廊下で大声を出したり夜中に騒いでいたりすることがありました。カフェの食事は正直ひどかったです。味付けが辛いのか甘いのか油っぽいのかのどれかで、飲み物もあまりおいしくありませんでした。Shilling Hall という建物の中にスタバのようなカフェがあり、そのベーグルや飲み物は美味しかったと思います。

⑨ **長期休暇の過ごし方**

長期休暇は全て旅行しました。

・ **Fall Break**

留学生の友人 10 名ほどでニューヨークへ。自由の女神、ウォール街、タイムズスクエアなど有名な観光地をまわりました。10 月だったので、気温が低くとっても寒かったです。

・ **Thanksgiving**

チュニジア人の友達と 2 人でフィラデルフィアとボストンに出かけました。適当な子だったので、お昼まで寝ていたり、出かける準備に 3 時間かかったりといろいろ大変な旅行でしたが英語力向上にはよかったです。ハーバード大学や博物館に行きました。

・ **Winter Break**

西海岸を南下する旅行をしました。シアトルから始まり、ロサンゼルスやサンフランシスコ、ラスベガスを経てグランドキャニオンに行きました。グランドキャニオンの景色は圧巻でした。（とても寒かったのですが）そのあと友達と別れてひとりでバンクーバーとシカゴでそれぞれ別の友達と会いました。

・ **Spring Break**

アジア人の女の子たちとシカゴへ行きました。シカゴピザを食べたり、シカゴ交響楽団の演奏会を楽しんだりしました。

どれもこれも私にとって本当に大切な思い出ですし、アメリカは訪れるべき場所がたくさんあるので、アメリカに留学された際はお金の許す限り、たくさん旅行に出かけてほしいと思います。

⑩ **留学中の就職活動について**

とりあえずリクナビやマイナビに登録し、3 社ほどエントリーしてみましたが、自己分析や企業研究など一切していなかったため、留学中は ES で落とされることも何回かありました。今年は 6 月解禁だったので帰国後でもまだまだたくさんの企業が残っていますが、これから先どうなるのかわからないので、留学中どのように就職活動を進めていくのかは考えておくべきだと思います。

II. 留学の感想

① **留学中で最も楽しかったこと、思い出に残っていること**

留学生のみんなとの日々は思い出に残っています。普段の他愛のない話や、一緒に旅行に出かけたこと、パーティーでダンスをしたりお酒を飲んだりしたこと、一緒に徹夜で課題をやったこと、本当に楽しかったです。何か 1 つ挙げるとすれば、春休みのシカゴ旅行だと思います。英語にも慣れて、私自身も旅行計画にちゃんと関わることができ、ガイドブックに載っているレストランを紹介することもできました。ホテルでは夜遅くまで留学生の男の子たちの話をしてとても盛り上がりました（笑）。仲間も初めに比べ深まってきていたので本当に楽しめました。

② **留学中つらかったこと、最も苦労したこと**

留学先に着いた初めの数か月間、アメリカ人はもちろんのこと、他の国の留学生の英語を理解することができなかったことです。英語で大分遅れをとっている分、仲良くなるスピードが少し遅くなってしまわないかと不安を感じ、数日間部屋で泣いていたこともありましたが、しかし、簡単な英語でも自分から話しかけるといことを心がけていると、

留学生のみんなの方からも話しかけてくれるようになりました。自分では TED を見たり、英語の先生と毎日 Speaking の練習をする時間を毎週作ってもらったりして英語力をつけたことで、何人もの留学生の友達が「英語うまくなったね」「英語うまくなったってみんな言ってるよ」などと声をかけてくれるようになりました。はじめは英語力で不安を感じるかもしれませんが、自分で努力することが大切だと思います。あとは、期末レポートが 10 ページ×4 教科あり、それをほぼ同時進行で進めていかなければならなかった時は、本当に大変でした。何日も徹夜して、やっと仕上げることができましたが、寝不足で体調はあまりすぐれませんでした。

③ 文化・習慣の違いで驚いたこと

時間にルーズなことです。集合時間などもあまり守りませんし、遅れてきても謝罪をしないです。先生がしょっちゅう授業に遅れてくるのですが、先生も何も言いませんし、学生も特に何とも思っていないようでした。ゆつたりのんびりしているというときよく聞こえるのですが、それはどうなのかなと思いました。日本と違うからおかしい、間違っていると決めつけるのではなく、違いがあるということを確認することが大切だと思います。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

留学先の良かった点は、日本人留学生が少なく、全体の留学生の人数がちょうどいいことだと思います。私が留学していたときは約 40 名留学生がいましたが、ひとりひとり名前も顔も知っているし、校舎内で会ったら必ず挨拶できるような関係に全員となれたと思います。また留学生用の自習室があり、そこに冷蔵庫や電子レンジ、エスプレッソマシンや Mac のパソコンなどがそろっており、集中して課題を進めることができた点。悪かった点は、大学の周りに何も無いところです。買い物に行くにしても、バスに乗って大型のショッピングモールに行かないといけなかったのも、休日におしゃれな店で買い物ができるということはありませんでした。田舎なので大学外だと Wi-fi がないので不便さを感じることもありました。大都市に旅行に行くと、こんなところに大学があればなあと思っていました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

ノートパソコンは必須です。私は持っていきませんでした。ポケット Wi-fi があれば便利だったかなと思います。また、スリッパは持って行くことをおすすめします。寮の部屋でみんな靴を脱がないのですが、私はそれが気持ち悪かったので、室内にいるときはスリッパに履き替えて生活していました。旅行で行くと思われる場所のガイドブックなども持って行って役に立ちました。（日本のガイドブックは、留学生みんなが、たくさん情報が書いてあるところにびっくりしていました。）

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

スピーキングとリスニングが飛躍的に伸びたと思います。洋画を見ていると何と喋っているのかは大体わかるようになりました。（ただ、単語の意味がわからない、会話表現独特の

意味を知らないなどではありますが）留学直後に受けた TOEIC では、それ用の勉強を全くしていなかったにも関わらず、220 点スコアがアップしました。しかし自分はまだまだだと思うので、卒業までにもっともっとスコアを上げたいです。語学以外では、プレゼンなど人前に立つことがそこまで苦ではなくなったことだと思います。留学中、英語でプレゼンをする機会が何度もあったので、面接など人と日本語で話すことは簡単だなと感じるようになりました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は楽しいことばかりだけじゃなく、大変なこともたくさんありますが、全体を通して貴重な経験ができます。語学力アップはもちろんですが、それ以上に他の国からの友人との出会いや、世界からみた日本について、異文化交流などたくさんのかんことを学ぶことができます。日本との文化面での違いや国民性の違いなどを知ることで、違いを尊重して他の国や文化についてもっと理解が深まることもあります。もし少しでも迷っているのならばぜひ挑戦してほしいと思います。（日本人は英語面で苦勞することもあると思いますが、自分にどれだけ厳しく勉強に取り組めるかだと思います。他の留学生よりもたくさん勉強してください。）

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私は留学を通して他の国の人や文化、国民性や歴史に触れたことで海外と関わる事ができる企業（主に商社）を中心にエントリーしています。国際協力や、貿易、海外に店を出そうとしている企業などさまざまですが、海外営業や海外出張などがあるところを選ぶようにはしています。まだまだ就職活動を始めたばかりで自分がどこに就職するのかわかりませんが、将来は本格的に英語を使って世界を舞台に活躍できる人になりたいと考えています。またもう一度、海外の大学で経済や国際協力について学びたいと考えているので、仕事が落ち着いたら海外の大学院に進学することも視野に入れていています。留学のおかげで自分の興味の幅が広がったと思います。

V. 写真



International Festival という留学生が自分たちの国について紹介するイベントのときに、パキスタン人の友達とそれぞれの民族衣装で撮った写真です。



大学から車で 1 時間のところにあるホールに友達とオーケストラのコンサートに行ったときの写真です。みんなドレスアップしていてわたしはスーツで行きました（笑）1 番左の子とはこの日はじめて会ったのですが、アメリカ人らしくはじめてでもすぐ打ち解けられました。